

## 重点施策 7 市民総参加のスポーツと健康教育の振興

### 【施策方針】

生涯にわたって、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、スポーツ・レクリエーション活動の充実を図り、市民が健康で明るく生活できるよう務めることにより、市の活性化に努める。

### 【実施状況】

#### (1) 主な施策・事業

- ① 生涯スポーツの振興
- ② スポーツ活動体制の充実・強化
- ③ スポーツ・レクリエーション施設の整備
- ④ スポーツを通じた青少年の健全育成

#### (2) 施策・事業の実施状況

##### ① 生涯スポーツの振興

社会体育施設（10 施設）の利用促進を図ると共に学校施設の開放（15 小学校、6 中学校）を行い、市民へのスポーツ・レクリエーションの場を提供した。

歩け歩け大会（1,200 名参加）、市民スポーツフェスタ 2012（17 地区公民館・約 1,000 名参加）、クロッケー大会（24 チーム・80 名参加）、市民健康マラソン（816 名参加）・八幡浜駅伝カーニバル（114 チーム・約 874 名参加）の開催など、市民が気軽に参加できるスポーツ大会を開催し、市民へのスポーツ・レクリエーションの機会を提供した。

マウンテンカーニバルで GO!（約 6,000 名参加）、第 11 回大学女子学生ソフトボール大会（8 チーム参加）など全国規模の大会を開催してスポーツ交流人口の増加を図った。

##### ② スポーツ活動体制の充実・強化

スポーツ推進委員会・体育協会などと連携し、スポーツの振興を図ると共に、競技団体の充実・強化・育成を図るため助成を行った。

市体育協会では、市のスポーツ振興に大きく寄与・貢献すると認めたものに対し、表彰及びスポーツ活動助成を行い、選手の育成及び健闘を称えた。

##### ③ スポーツ・レクリエーション施設の整備

社会体育施設の保守点検を行い、不良個所の修理を行うことにより、安全で快適なスポーツ・レクリエーション活動の環境整備に努めた。

##### ④ スポーツを通じた青少年の健全育成

スポーツ少年団に対して助成を行い、交流研修会、体験発表会、ソフトボール及びサッカー大会を開催した。また、大会の参加や開催を促進し、競技力の向上に努めた。

また、日本サッカー協会が受託事業として実施した「夢の教室」においては、著名

なスポーツ選手が「夢先生」となり、子供たちに夢を持つことや仲間を思いやることの大切さを実体験を通して伝えた（宮内小学校、松蔭小学校で実施。）。

#### 【学識経験者意見】

生涯にわたって、いつでも・どこでも・いつまでもスポーツに親しみ、これが市民の健康で明るい生活につながる。これは大変喜ばしいことであると思っている。

生涯スポーツの推進のために社会体育施設及び学校施設の開放により、子どもからお年寄りまで幅広いスポーツ人口の増加につながっている。

- 市民だれもが参加できる「歩け歩け大会・市民スポーツフェスタ・市民健康マラソン・駅伝カーニバル」が盛況で市民が積極的に参加し、楽しみながら体力づくりと豊かな心を育てる人間形成の面からも評価できる。
- 全国規模の「マウンテンカーニバル・大学女子ソフトボール大会」では市民ボランティアの協力などによる市民参加の大会として大変有意義な大会となっている。特に国際大会につながる「マウンテンカーニバル」は子供達に大きな夢と希望をもたらしている。
- 平成29年開催の「えひめ国体」における施設の整備等が遅れているように思える。体育協会・体育指導委員会など諸団体と連携を密にし、早急に施設の整備を行って欲しい。

#### 【自己評価】

- 生涯スポーツの振興のため、社会体育施設及び学校施設の開放を進めているが、とりわけ市街地施設は利用希望が多く、調整を要する場合もあり、利用者ニーズに充分に答えきれていないところがある。財政的にも、新たな施設整備は困難な状況であるが、小中学校の統廃合によって用途廃止となる体育館、またはグラウンドについては、社会体育施設として有効活用が見込まれる場合は転用するとともに、適時適切な施設営繕を心がけ、運用効率の向上を図っていきたい。
- 市民参加型の体育イベントについては、マンネリ化に陥らぬよう内容の見直しや工夫を凝らしつつ、継続して実施していきたい。
- 全国規模のスポーツイベントの開催は、スポーツを通じた青少年の健全育成や地域振興に資するため、その効果が最大限発揮出来るよう改善を図りつつ、継続して実施していきたい。
- 平成29年開催の「えひめ国体」にかかる施設の整備を含めた諸準備については、関係競技団体をはじめ、来年設置予定の準備委員会での協議をふまえ、計画的に実施したい。